



鐘音

1月号 令和6年1月29日発行



「去年今年・・・」

校長 山口 浩樹

かなり遅くなりましたが新年明けましておめでとうございます。2023年の「卯」から2024年、「辰」に変わりました。卯年はぴよんぴよん跳ねるイメージから推測できるように飛躍、向上の年と言われていましたが、皆さん、それぞれの目標に向かって大きくジャンプアップできたでしょうか。

さて今年の干支は「辰」、正確には「甲辰」と言うらしいです。甲は草木がどんどん生長していく、勢いを増していくことで、辰は形が整った様子・・・つまりは成功に向けて芽がどんどん成長し形が整う年・・・成功の年になると言われています。努力を怠らず、是非、成功という果実をつかみ取って欲しいと思います。

大笠中で言うと、去年は変革の年、校則をはじめ、ジャージや体操服など、様々な物やルールを、子どもたちの目線を意識して改善してきました。今年は更に南さつま市統一型制服を導入し、個人の選択の幅を大きくしました。より過ごしやすき環境の中で、それぞれの目指す目標に向け切磋琢磨し、成長していければと思っています。

一方で周りに目を向けると能登半島での大きな地震被害が起こったり、日航機との接触事故があったり、朝鮮半島や台湾、中国などを巡り不穏な空気が流れたりと心配ごとも多くみられます。平穏な気持ちで新年を迎える状況ではないかもしれませんが、自分には何ができるのだろうと立ち止まるより、小さくても今の自分にできることから始めることが大きな飛躍、成功につながると思います。

「去年今年 貫く棒の如きもの（こぞことし つらぬく ぼうのごときもの）」
年が変わっても目標を心の中にしっかりと持ち、進んでいきましょう！

終業式・始業式

12月22日(金)に2学期終業式、1月9日(火)に3学期始業式を行いました。それぞれ学年代表の生徒が反省と抱負を発表しました。3学期から校歌の伴奏が1年生になりました。



小中交流学习

1月12日(金)の5・6校時は、大浦小6年生7名、笠沙小6年生7名、大笠中1年生15名で小中交流学习を行いました。中学生が企画・運営をして、ジャンケンゲームやドッジビーなどレクリエーションで楽しい交流を行いました。中学生や他校の児童とコミュニケーションができたことと思います。4月の入学を待っています。

交流学习終了後は、保護者の方にも来校していただき、新年度に準備する物品購入を行いました。



私立高校受験（3年）

1月下旬は、私立高校の入試が行われました。今年度は、コロナ以前のように学力検査だけでなく、ほとんどの学校で面接も実施されます。生徒たちは、テスト勉強、面接指導、作文指導など、まさしく「受験勉強」のまただ中ではないでしょうか？1月19日に行われた私立受験の全体指導では、校長先生からも激励の言葉がありました。3年生全員が笑顔で「15の春」を迎えることができるように応援します。頑張れ！



赤い羽根募金

生徒会が中心になって、12月4日～8日に赤い羽根共同募金への協力を呼びかけました。集まった募金は社会福祉協議会へ送金しました。

職業講話（2年）

1月25日(木)の5・6校時に、2年生は職業講話を行いました。講師として、保育士の清水さとみさん、農業・飲食店経営の窪壮一朗さんの2名の方が来校されました。中学生の今の大切さなどお話しになりました。お忙しい中にもかかわらず、ご講話いただき、ありがとうございました。



鹿児島学習定着度調査

1月16日(火)～17日(水)は、県内全ての中学1年生と2年生を対象に鹿児島学習定着度調査が行われました。1日目は国語・理科、2日目は社会・数学・英語を行いました。同時に学習への取組状況の調査も行われました。結果は、3月頃発表されます。

2月行事予定

- 2日(金) 平和学習(1年)
- 5日(月) 鳳凰高校 海の授業in大笠中
- 10日(土) テスト前部活動停止(～14日)
- 11日(日) 【●】建国記念日、お伊勢講
- 13日(火) 3年授業参観・3年PTA
- 15日(木) 学年末テスト(～16日)
- 20日(火) 郷土学習(野間神社二十日まつり)
- 23日(金) 【●】天皇誕生日
- 28日(水) 1・2年授業参観、学年PTA、PTA専門部会

3月の主な行事予定

- 5日(火) 公立高校入試(～6日)
- 9日(土) 土曜授業(クラスマッチ)
- 12日(火) 第11回卒業式
- 13日(水) 公立高校入試合格発表
- 20日(火) 【●】春分の日
- 25日(月) 修了式、辞任式

日新公いろは歌 2・3月



敵となる人こそはわが師匠ぞと

おもひかへして身をもたしなめ

自分の敵となる人は、もともと憎いものではあるが、また一方から考えると、自分に油断をさせず、刺激を与え、自分を磨いてくれるものである。敵こそは自分の師匠であると思いなおして、我が身を慎むべきである。



ホームページはこちら↑

＜新聞への掲載＞ 昨年、11月と12月は、新聞への掲載がありました。

第25回 南九州市かわなべ青の俳句大会

— 中学の部 学校賞 —



情景を大事に初受賞

大笠中 (南さつま市)

自然豊かな地にあり全校生43人が日々感性を磨く。2年生3人が特選・入選となり初の学校賞となった。特選の大坪歩睦さんは「すずめの子母の帰りを待ちわびる」と心情を詠み、入選の下原涼香さんは「紫陽花の光のしづく雨あがり」で一瞬を切り取った。〈七夕に皆の願いが星になる〉で特選の崎向元汰さんは「短い言葉で思いを込められるのが魅力」と語った。国語担当松山洋一教諭(63)は「情景を大事に皆自由に表現できた」と喜んだ。

令和5年11月24日
南日本新聞

◆姉妹都市の中学校がオンライン交流 南さつま市の大笠中と北海道旭川市の西神楽中が12日に初開催した。西神楽中は、零下30度を下回る日もある雪国の厳しい暮らしやソウルフードのジンギスカンなど紹介。大笠中2年生は、長崎への修学旅行での平和学習や地元の万世特攻平和祈念館について説明した。生徒会長の2年大坪歩睦君は「南北で大きく異なる気候など面白かった。鹿児島に遊びに来てほしい」と語った。



令和5年12月24日
南日本新聞

巨大草履を引きずる中学生＝17日午後3時、南さつま市大浦町の大山祇神社



巨大草履奉納 幸せ祈る 大浦で山神祭り

南さつま市大浦町大木場地区の大山祇神社で17日、無病息災を祈り巨大な草履を奉納する「山神祭り」があった。両足で重さ60キ、直径2メートルの丸い大草履を、地元の大笠中学校3年の大野純杜さんと南武輝さんが履くように引きずり、祭りを盛り上げた。大木場は平家の落人伝説が残っており、「巨人がいる」と思われて追っ手を退散させるため峠に10畳ほどの草履を置いたのが起源とされる。昨年、続く出番の2人は鳥居手前から拝殿までの約30メートルを必死に歩き、「重くきつかったが治道の応援で力が出た。支えてくれた人たちに感謝。受験にもご利益があればいい」。自治会長の大木勝彦さん(64)は「多くの人でにぎわい活気があった。皆の健康と幸せを祈る伝統行事。大事に継承していきたい」と語った。(犬塚政志)

令和5年12月18日
南日本新聞

日々の活動(ホームページ掲載)

＜主な掲載内容＞

1月24日(水)
研究授業(音楽)
1月16日(火)
クリーンデー

大笠中学校ホームページ
QRコード

見やすいカラー版は、
ホームページにあります。

